



地域発 元気づくり支援金【長野地域】 平成 29 年度事業の優良事例を選定しました

平成 29 年度に「地域発 元気づくり支援金」の交付を受けて実施された 70 事業の中から、着眼点や波及効果が特に優れ、今後の地域づくりの模範となる優良事例を 3 事業選定しました。

1 優良事例

◎知事表彰

■鬼無里フットパスによるまちづくり事業

○実施主体: 鬼無里観光振興会(長野市)

事業内容	鬼無里地区における奥裾花周辺地域以外の観光素材の有効活用を図るため、地域の自然や文化など「ありのままの風景」を楽しみながら歩く「フットパス」として、鬼無里の名の由来になっている「鬼女紅葉伝説」にちなんだルートを整備する事業。 ・総事業費(うち支援金額)1,988 千円(1,532 千円)
★選定のポイント	住民参加のワークショップの開催・検討を経て、ウォーキングコースを新設し、それを活かした鬼無里フットパスフォーラムや、地域住民がおもてなしで参画したウォーキングイベント等が実施され、身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、鬼無里への関係人口の増加及び集落の除草や休耕地での作物栽培開始など里山の景観整備も進むなど波及効果をもたらした。

◎地域振興局長表彰

■ユニバーサルなまち・長野おもてなし～皆で幸せになるために～

○実施主体: 信州ユニバーサルサポーターズ(長野市)

事業内容	障がい当事者も健常者同様に旅、観光、アクティビティを楽しんでもらえるようにするために、デュアルスキー、アウトドア用の車椅子の試乗体験会を開催するとともに、障がい者を受け入れるための環境整備として「おもてなし」への理解を深めるための講習会を開催する事業。なお、講習会の参加者には上記体験会へのボランティア参加を依頼する。 ・総事業費(うち支援金額)1,835 千円(1,432 千円)
★選定のポイント	障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめる「ユニバーサル観光地ながの」を目指し、障がいがある方向けのアクティビティの体験会を実施、それに伴い、ボランティアを育てるためのサポーター研修を実施した。サポーター研修ではおもてなしも実践しシニアボランティアの育成と、実際にアウトドア用車イスやデュアルスキーの体験をしていただいた方の声を聞くことができ、「ユニバーサルツーリズム」について広く知ってもらうことができた。

◎地域振興局長表彰

■姨捨の棚田 OASIS プロジェクト事業

○実施主体：名勝姨捨棚田倶楽部（千曲市）

事業内容	姨捨の棚田一帯における都市と農村との交流を通じた地域活性化を図るため、棚田近くの空き家を改修し、棚田農業体験をはじめとする交流の拠点（交流、休憩、農機具保管、収穫した農産物の保管・加工）を、改修工事に住民も参加しつつ整備する事業。 ・総事業費（うち支援金額）8,001 千円（5,000 千円）
★選定のポイント	農作業体験参加者や学生、一般参加者とともに、ワークショップを進めながら協働で棚田近くの空き家の改修に取り組み、農業体験などで訪れた方々が休憩したり、交流の場を設けることができた。同時に進捗状況や交流内容を情報発信することで、多くの反響を得るなど、交流拠点を中心に、今後の活動の発展への貴重な足掛かりとなり、多くの力を巻き込む形での地域活性化の基礎づくりとなった。

※事業の選定に当たって、「地域発 元気づくり支援金」長野地域選定委員会のご意見をいただきました。

2 表彰及び発表会の実施等

平成 30 年 12 月に長野合同庁舎で開催を予定している「平成 31 年度（2019 年度）地域発 元気づくり支援金 事業募集説明会」において、今回選定した優良事例（知事表彰及び地域振興局長表彰）の表彰と事例発表を行います（別途プレスリリース）。

また、県のホームページなどを通じて、広く事業の紹介をします。

確かな暮らしが営まれる美しい信州

～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中



ながの果物語り

長野地域振興局企画振興課

（課長）山崎哲哉

（担当）新村泰洋 大草素子

電話：026-234-9501（直通）

FAX：026-234-9504

E-mail nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp